



稲毛海浜公園を調査する佐々木議員

佐々木ゆうき

中小企業の正規雇用拡大につなげる

奨学金返済支援制度の創設を

いま、自治体の一部で中小企業の人材確保や若年者の当該自治体への就職・定着を図るため、若手社員の奨学金返済を支援する中小企業への補助が行われています。政令市では神戸市と北九州市、県レベルでは京都府や兵庫県が実施しています。

佐々木議員は、千葉市に就職する若者の奨学金返済を応援し、市内企業への定着を図るうえで、制度実施を提案し、市は「その効果や課題等に関して、先進的な事例を研究していく」と答えました。

兵庫型奨学金返済支援制度のイメージ(年返済額18万円の場合)

企業 1/3	6万円
県 1/3	6万円
本人 1/3	6万円

県の補助分を合わせ、企業が本人に補助12万円/年(月1万円)

ブラック企業・ブラックバイト対策のためにイベント時にリーフレットの配布を



厚生労働省作成のリーフレット

佐々木議員は、市内に住む若者へ配布するよう提案してきました。昨年の千葉市成人を祝う会で、労働法を漫画で解説したリーフレットの紹介がされました。

引き続き、成人を祝う会など若者が一堂に会するイベントでの周知を求め、市は、「就職を希望している若年者等に対して、労働条件の確認を促すよう、機会を捉えて周知を行っていく」と答えました。

公園は利益追求のための施設ではない

稲毛海浜公園リニューアル事業は、オーストラリアから白砂を輸入し、現在の砂浜と入れ替えたり、砂流出防止対策などのために約18億8千万円を投じようとしています。また、見通しを良くするという理由で防砂林の役割があった「磯の松原」を伐採することに市民の理解は得られていません。公園は環境面、防災面などの本来の役割があり、民間企業の利益追求のための施設ではありません。これまで抜本的な老朽化対策を怠ってきた市の責任は重大です。

稲毛海浜公園リニューアルの事業費(千葉市負担)

- 白砂に入れ替え 8億8,400万円
- 砂流出対策 2億4,100万円
- 基盤整備 5億5,700万円 など

消防力の強化のために消防団員の確保を幅広く

この間、大学では淑徳大学を中心に学生消防隊が組織されるなど、日中に大学に通う学生なども防災パトロールやボランティアとして活動されることが期待されます。佐々木議員は、「大学へ消防団員の確保に向けた周知と依頼を」と求め、市は「入団促進活動を実施させていただくよう、市内大学と協議を進めており、学生の消防団への入団を促進していきたい」と答えました。



総務省消防庁が昨年度に作成した消防団員募集ポスター

意見書・請願に対する各会派の態度

(○=賛成 ×=反対)

意見書・請願名	共産党	自民党	民進党	公明党	ネット
核兵器のない世界へ日本の役割を発揮するよう求める意見書	提出	○	○	○	
「働き方改革」関連法案の提出をやめるよう求める意見書	提出	×	○	×	
憲法を国政に生かすよう求める意見書	提出	×	○	×	
教職員定数の改善を求める意見書	提出	×	×	×	
原子力発電の即時廃止へ決断を求める意見書	提出	×	×	×	
国民健康保険制度の充実を求める請願	○	×	×	×	×

※市民ネットワークおよび無所属議員は、議会運営委員会に委員がないため態度表明はありません。賛成・反対が同じ場合、委員長(自民党)による採決(反対)で、共産党提出の意見書は本会議に上程されませんでした。

編集後記
3月議会で、党市議団が提案した「核兵器のない世界へ日本の役割を果たすよう求める意見書」が採択されました。▼昨年、国連で採択された「核兵器禁止条約」の批准に向けて世界が動き出しています。ノーベル平和賞を受賞したICANも「核兵器禁止には被爆国の役割が重要」として、日本政府に一刻も早い批准を求めています。▼千葉市議会の意見書では、被爆国の政府として、世界に「核兵器の使用は断じて許されないと発信する責任を指摘しています。▼核兵器禁止条約の翻訳すら拒否し、米国の核使用条件拡大方針を支持する日本政府は、全会一致で採択した重みをしっかりと受け止めてほしい。(K)

ご意見・ご要望はお気軽にどうぞ

- 寺尾さとし (305) 4922
- 佐々木ゆうき (241) 1072
- かばさわ洋平 (292) 7764
- 野本信正 (237) 9068
- 吉田まさよし (256) 5897
- もりた真弓 (250) 9609
- 中村きみえ (275) 2470
- ふくなが洋 (263) 4334